

## 令和7年度（伊勢原高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(法令の遵守、 サービス規律の徹底)	職員一人ひとりが、 教育公務員としての 自覚や意識を、公務 内はもちろんのこと、 公務外における行動 においても高く持ち 続け、生徒・保護者・ 県民の信用を損なわ ないよう、意識啓発 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綱紀保持通知等の内容を管理職が職員に伝え、注意喚起をした。</li> <li>・管理職による職員全員への面接を複数回実施し、個々の業務遂行状況、同僚との人間関係、心身の健康状態等の聞き取りを実施した。</li> <li>・定例職員会議の中で不祥事防止職員研修を行い、計画的に研修を実施した。</li> <li>・上記の活動を通して、法令順守の意識を高めた。</li> </ul>
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	わいせつな事案や、 職員および教育実習 生に対するセクハラ 及びパワハラ行為の ない職場を実現す る。また、未然に防 止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職による、教科準備室等の校内巡視を実施した。</li> <li>・携帯電話や電子メールの適切な使用と申請等について、周知し浸透させた。</li> <li>・職員への声掛けなどを通して、管理職に相談しやすく風通しの良い職場環境づくりを心掛け、職員同士の同僚性の構築を促した。</li> <li>・県から発出された資料や報道内容等を使って研修を行った。</li> <li>・上記のことで、意識啓発が行われた。</li> </ul>
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職による教科準備室等の校内巡視を実施した。</li> <li>・不祥事防止職員研修を実施し、職員の行動をセルフチェックさせ、陥りやすい誤りを確認させた。</li> <li>・生徒とのSNS等での連絡は厳禁であることを職員に繰り返し周知した。</li> <li>・上記のことで、意識啓発が行われた。</li> </ul>
体罰、不適切な指導の防止	基本的な人権の尊重の精神に基づき、体罰や不適切指導のない学校を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育校内研修会を開催し、人権意識や人権理解を深めた。</li> <li>・日常的に生徒指導や支援はオープンスペースで、複数で対応し、不適切指導の無い環境づくりを行った。</li> <li>・部活動の顧問同士の情報共有を進め、不適切指導のない環境づくりに努めた。</li> <li>・上記のことで、人権尊重の意識を高めた。</li> </ul>
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、調査書発行等に係る不適正事案のない学校を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績処理日程を事前に職員に周知し、計画的な業務遂行を促すことにより事故防止に努めた。</li> <li>・複数チェック体制を整え実施した。</li> <li>・入選要項の詳細な内容の共有のため、事前研修を計画的に実施した。</li> <li>・上記のことで、事故の未然防止がなされた。</li> </ul>

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の取扱いについて細心の注意を払うとともに、その流出を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務手帳や成績に関する書類は、施錠できる場所に適切に管理、保管した。</li> <li>・試験や成績処理期間中にはシュレッダー使用禁止にし、誤廃棄防止に努めた。</li> <li>・やむを得ず個人情報を持ち出す際は、管理簿による管理を徹底した。</li> <li>・上記のことで、事故の未然防止が行われた。</li> </ul>
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	道路交通に関する法令を遵守し、酒酔い・酒気帯び運転及び交通事故の防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不祥事防止職員研修等で注意喚起し、交通事故防止、交通法規の遵守の意識を高めた。</li> <li>・職員同士でも声掛けをしあい、交通安全への意識高揚が図られた。</li> <li>・上記のことで、安全運転の意識高揚に務めた。</li> </ul>
財務事務等の適正執行	学校徴収金・団体徴収金等の執行と会計管理を「私費会計事務処理の手引き」にもとづいて適正に行うとともに、帳票類の整理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に会計担当者説明会を実施し、作業手順、チェックポイントを共有した。</li> <li>・私費会計マニュアルを基にした校内独自マニュアルを活用し、事故防止に努めた。</li> <li>・様式等の情報を得た際に即時に周知し、円滑な会計処理のために活かした。</li> <li>・管理職が、保護者通知や通帳との照合を細かくチェックし、不備のないように指導した。</li> <li>・上記のことで、事故の未然防止に努めた。</li> </ul>
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	法令・マニュアル等の諸規定に基づき、日常の点検やチェックを行い、適正に業務を遂行する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士の声かけにより、報告・連絡・相談の励行が進んだ。</li> <li>・ポータルサイト、職員打合せ掲示板、共有フォルダ等を有効活用し、情報の共有化、業務の円滑化を図った。</li> <li>・上記のことで、事故の未然防止に努めた。</li> </ul>
教員経験の浅い職員による不祥事の防止	採用後5年以内の職員ならびに通算任用期間が5年以下の臨時的任用職員や会計年度任用職員による不祥事を未然に防止する。教員経験の浅い職員も増えてきているため、カウンセリングマインドの向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職や同僚による声かけの励行や相談体制の整備を進め、社会人、公務員としての自覚や不祥事を起こさないこと、課題を一人で抱えこまないことの意識を醸成した。</li> <li>・管理職による授業観察や面談を複数回実施し、個々の業務遂行状況、同僚との人間関係、心身の健康状態等の聞き取りを行った。</li> <li>・上記のことで、事故不祥事の未然防止に努めた。</li> </ul>

## ○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

全日制・定時制ともに毎月、不祥事防止職員研修を計画的に実施した。職員は真摯に取組み、各々の内容について確認し、法令遵守の意識も高揚することができた。職員同士の同僚性も構築されており、事故防止に向けた環境整備、業務遂行等、協力体制をつくることができた。

社会全般で精神的な負担が増加する中、今後も職員、生徒ともに精神面のサポートが必要と思われる。引き続き職員のカウンセリングマインドの醸成、生徒の学校生活への見守りや心配り、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの協力を仰いだ支援体制の構築と支援の実施等、現行の教育相談体制の質を更なる向上に繋げていく。